

学校名	三重県立稲生高等学校				
教育目標	○基礎学力を充実させ、学習についての関心や興味を深めさせる。 ○他者との触れ合いを大切に、人間性豊かな心を育てる。 ○苦しさに耐え、成就感味わえるたくましい人間を育成する。 ○自由と責任を自覚し、行動できる自立性を培う。 ○人権・同和教育をはじめとする全ての差別問題を正しく認識し、人権尊重の精神を育成する。				
平成14年度 努力事項 (自己評価 取組課題)	めざす姿 (取り組みによって求める 具体的な姿や状態)	実施計画 (めざす姿にせまるための手法等)		中間評価結果	最終評価結果
		具体的な取組内容 (実施形態)	取組に対する 自己評価基準		
努力目標 ①日常の学習を通してわかる喜びを体得させる。 ②節度ある生活を実践させ望ましい生活態度を養う。 ③部活動への参加促進。 ④将来の進路を見つめ職業観を確立させる。 ⑤安全に留意し、健康な心身と体力の向上を図る。 ⑥人間の尊厳について理解させ、人権尊重の態度を養う。	本校の重点課題として取り組む。 ①生徒理解と指導の徹底。 ②基礎学力の充実。 ③魅力と特色ある学校づくりの推進。	○今後の本校のあり方を模索し「改革委員会」を立上げ協議する。 ○各種委員会の運営と活性化。 ○全教職員への意識改革の取り組み。	○改革委員会は基本的には毎週1回開催 ○各種委員会は月1回開催 ○校内巡視等随時	○改革は65% ○各種委員会等引き続き100%に。 ○取組みの結果減少している。継続と新たな目標設定へと拡大していきたい。	①改革等95%達成。 ②達成 ③達成
(教務) 基礎学力を重視した授業展開の推進。	個々の生徒の学力や習熟度にあわせた授業を展開する。	多くの科目で、習熟度別講座編成や少人数講座編成を実施する。	習熟度別指導および少人数指導について、指導方法により効果があつたという割合80%	ほぼ全ての講座において、指導方法に効果があつたと考えられる。	全ての教科において、効果があつたという結果を得た。(100%)
(総務部) PTA活動の活性化	PTA事業への積極的な参加により活動の活性化を図る。ひいては、生徒の健全な育成を目指す。	・年2回の登校指導を実施し、生徒の現状を見ていただきPTA活動の必要性を感じてもらう。 ・PTA事業の見直しや内容の改善を。実施形態の工夫など、より参加しやすい状況にする。 ・生徒、保護者、教員の三者で意見交換の場を持ち、問題点を取り上げ、PTA活動の活性化につなげる。	・登校指導参加率(保護者30名) ・役員会、常任委員会等での反省会。	三者での意見交換やフリー参観日など新しい取り組みができた。しかし、参加者は少ない。	三者での意見交換やフリー参観日など新しい取り組みができた。しかし、参加者は少ない。
(生徒指導) 規範意識の向上	集団の一員であることを理解させ、他を思いやる心を伸長。	・校則の改正 ・謹慎指導の改正 ・校内巡視指導の強化	・問題行動の件数減。 ・生徒の生活アンケートの実施。	90%	90%達成
(進路指導) 進路指導の充実	・基礎学力の充実 ・進路意識を高める	基礎学力、一般常識アップの為に夏休み課外を実施する。	就職希望者の参加達成率(50%)	幹旋者の1/3ほどが参加。達成率6割。	幹旋者の1/3ほどが参加。達成率6割。
	・進路意識を高める	・個別進路相談を充実させる。 ・進路ガイダンスの充実(3学期に外部講師による職業別進路ガイダンス) ・進路情報の収集を生徒自らが積極的に行う。	・三者懇談会の実施(年2回) ・1,2年生は各学期1回。3年生は進路別に5回実施する。 ・目指す姿の達成率(50%)	ほぼ8割達成。	達成。
(人権・同和教育) 人権同和教育チームの設置	校内における人権・同和教育推進に関わる様々な取り組みを具体的に企画・立案運営するチーム。	現在機能している「人権デプロジェクト」をさらに発展させる形で「人権・同和教育推進プロジェクトチーム」とし、様々な取り組みにメンバー(全職員)で関わるようにする。	毎月1回の「人権デプロジェクト」のミーティングで「人権デー」以外の取り組みの具体的な企画・立案・運営を行う。	達成	達成

(保健環境) 生徒理解と教育 相談	生徒理解と教育相談の充実	・生徒の実態把握で個々の状況を 聞く。 ・教育相談等の研修会に関する情 報提供。	・年間1700名 ・教育相談係4名 参加	達成	・達成 ・達成
(保健環境) 環境美化の推進	・清掃の徹底 ・ゴミの分別、減量化への取り 組み強化。	・ポスター掲示物による啓発。 ・「ゴミ分別」をテーマに身近な環境 問題、ゴミ分別への意識の高揚を図 る為の教員劇を行う。 ・保健美化委員会を中心に有志も入れ た「クリーン作戦」を行う。 ・「0」のつく日を「ゴミ0の日」として 掲示物による啓発を行う。	・選択授業でポス ターづくり。 ・全校参加 ・10人程度の参 加 ・年間19回	・達成 ・達成 ・達成 ・13回実施	・達成 ・達成 ・達成 ・年19回実施
(図書情報) 資料提供活動の 充実	必要に応じた資料検索や職員 に問い合わせることが出来る 生徒の育成	予約への対応リファレンスサービ スを迅速に行い図書館行事を企画す る。保護者への貸し出し。図書館か らの情報発信を効果的に行う	貸出率3	貸出率1.3 (11月末迄)	貸出率1.7 (2月24日まで)
(図書情報) 閲覧室の整備	照明や空調に気を配り、探し やすい書架のレイアウトや ディスプレイ表示を心がける	書庫への蔵書移動など書架整理を 行う		達成	達成
(図書情報) 図書 館利用教育の推 進	図書館資料やインターネット の情報を活用する授業の研究	教科と連携をした図書館活用の研 究	年に1つの課題を 設定し、研究・実 施する	達成	達成
図書委員会を活 性化する	カウンター当番や委員会主催 行事を生徒が主体的に出来 る生徒の育成	図書委員としての自覚を育成	当番出席率8割を 目指す	出席率8割	達成
図書館新システ ム導入を円滑に 行う	バーコードはり替えを行う	夏休みに一斉に取り組めるための バーコードを用意する	バーコード貼り替 えに着手する	達成	達成
視聴覚教室の整 備・充実	備品と学習情報の充実	消耗品や取扱説明書の充実		達成	達成
学習活動におけ る視聴覚教室の 利用促進	教科・ホームルーム・自習時 間における視聴覚学種の実 施促進	視聴覚室利用一覧を導入し、使用 時間の調整		達成	達成
視聴覚教室の利 用効率化	視聴覚教室使用一覧表の活 用徹底	毎年年度初めに一覧表の作成		達成	達成
情報資源の有効 的な活用	ネットワークの維持管理と利 用講習会の計画実施	講習会の企画実施	年1回の講習会 実施	達成	達成